

# 特集 つくる繋がる

村民の手によって企画された新しいイベントがスタートしました。生まれ育った村を盛り上げようと、同じ熱量を持った者同士が協力し合い、周りを巻き込みながら広がっている様子をお伝えします。

## 魅力ある

## 逸品が集合

村内のおいしいもの、楽しい人が集まる「しょうわむらマルシェ」が道の駅あぐりーむ昭和を会場として開催されました。

昭和村のおいしいもの、楽しい人を村内外に知ってもらいたいと開かれたこの企画。4月から11月までの8か月間に計16日催されました。

会場には商工会創業塾で学び起業したお店をはじめ、村内で商いを営む店舗が自慢の逸品を持ち寄り出店し、日本一のこんにやく芋を使ったこんにやく製品や「やさしい王国」の新鮮野菜を使った加工品などのおいしいものが数多く並びました。

加工品の販売のみならず、11月には、ネイル、ヨガ、多肉植物の植え付けなどの体験型ワークショップも開かれました。マ

## ご当地グルメが道の駅に集合

## しょうわむらマルシェ開催

ルシェの回数が増えていくにつれて、来場者が楽しめるようにと工夫されています。

各店舗では試食も多く提供されており、村内外から訪れたお客さんは昭和村の魅力ある逸品を再発見し購入していました。こうした積極的なイベントを通じて、昭和村の商業が盛り上がりを見せています。

## 自分たちでつくる

「マルシェ」とは、フランス語で市場を指します。その土地で暮らす人が食材や雑貨など、日常の買い物をする場所を意味しますが、日本ではイベント的に開催されることが多いです。

「しょうわむらマルシェ」は、昭和村商工会とその会員が主体となり、地元市場としての役割を果たすイベントとしての思いを込めて作られました。







来場者に商品の良さを伝える

## マルシェが 生み出す相乗効果

道の駅「あぐりーむ昭和」には、一日におよそ4千人ほどの来場者が村内外から訪れます。

マルシェの会場となったことにより道の駅の集客も例年と比べ多くなっているようです。駅長の諸田篤也さん（永井上）は「マルシェが開かれる土日は、お客さんの入りがよく、野菜もよく売れている。旬菜館も含めいい連携ができているのでは」とマルシェが生んだ効果を喜んでいました。

また、「定期的に開かれることにより、マルシェが少しずつ定着し、昭和村産の逸品を求めるリピーターの声も聞えてきている」と話していました。



会場内をみてまわる来場者

## 活躍する出店者

マルシェには村内で創業された店舗が数多く出店しています。今回は、その中から4店舗を紹介します。

### 小麦工房なっちゃん



糸井地区に「小麦工房なっちゃん」を令和元年にオープン。専門学校を卒業後、発酵の奥深さに魅せられ製パンの道に進む。

地元の人に焼き立てパンを提供できるお店をとの思いで、商工会の主催する創業塾で経営について学び創業。

つくられたパンは店舗販売と道の駅に卸されており、今回のマルシェにも参加。「たくさんのお客さんに知ってもらえる機会になった」と喜びを表しました。

なつみ  
石田夏美さん(常木)



### Repos (ルポ)



村創業塾で学び、森下地区に洋菓子店「Repos (ルポ)」を令和3年にオープン。

「私が作成するケーキは、買う人にとって特別な日の一つ。そのことを忘れない」と、買う人、食べる人の気持ちを考え、一つ一つ丁寧に作られたケーキを地元の人に提供しています。

マルシェでは、主に焼き菓子を販売。「店舗に足を運んでくれる人とは違ったお客さんと出会えた」とよいPRができたことを喜びます。

まなみ  
西澤愛美さん(森下)







2 1



5

4 3

- 1 洋服の販売もありました
- 2 大自然の中で行ったヨガ体験
- 3 自分好みに多肉植物の植え付け
- 4 来場者と会話を楽しむ
- 5 7 大盛況で出店者も笑顔に
- 6 自慢の逸品、試食はいかが？



7 6



なおみ  
山口直巳さん(永井下)

支えてもらった地元の人々に愛されるおやつをとの思いで、村創業塾に参加し、令和2年に創業。永井地区に「福田舎のおやつ工房」をオープンした。

昭和村産の野菜などを生かした昔懐かしいおまんじゅうを販売中。基本、予約販売を行っているが週末は道の駅に卸している。

マルシェでは「若い人に買ってもらえたり、対面販売でお客さんの声を直接聞けたことがよかった」と普段とは異なる客層や、反応があったことに喜んでいました。

### 福田舎のおやつ工房



やすと  
須藤泰人さん(赤城原第一)

今回のマルシェの発起人の一人、地域を盛り上げるため、昭和村の良さをアピールできる場所をとマルシェの立ち上げに協力したとのこと。

平成27年、経営している牧場の「おいしい牛乳を使った商品」を届けていきたいと考え「ミルクロード」を創業。現在は、牧場の経営をご子息に引継ぎミルクロードに専念している。東京都と高崎市に直営店があり、スーパーなどにも卸している。週末は道の駅で営業中。

### ミルクロード





# 村の商いを支える

## 昭和村商工会



### 村の発展のため

商工会は、会員のため、村の発展のために事業者を支えています。今回紹介したマルシエを企画したり、創業塾などを通じて起業する手助けをしています。

しょうわむらマルシエを企画した商工会指導員の飯塚昭雄さん（大河原）は「事業者さんの経営相談に乗っていると『地元の人に紹介できる場所が欲しい』との話になった。展示即売会ができるマルシエの形はどうだろうと、昨年10月に実施してみたところ、思っていた以上の反響があった。村外の方へのアピールはもとより、村内の方にもっと知ってもらえるように、来年以降も定期的の実施していきたい」と話します。

また、商工会長の高橋紹郎さん（吹張）は「地域企業の要として振興事業に取り組み、村の発展に努めていきたい。また、住みたい村、生活しやすい村、幸せを感じる村を目指していく」と、地域を盛り上げる手助けをしていく決意を述べます。

## ともに歩む ビジネスパートナーを 目指して

昭和22年生まれ。高校卒業後、建設企業での経験を経て、平成3年、村内で高和建設(有)を設立する。「和を以て貴しとなす」を信条に、互いに尊重しつつ調和していくことの大切さを心に経営に従事している。



昭和村商工会

会長 **高橋**

つぎお  
**紹郎**さん(75)

## 昭和村創業塾 ～あなたの夢を応援します～

創業を考えている方  
副業・独立を考えている方を応援します

▶ 第8回講師 沼澤啓吾さん



創業に関する基礎知識を集中的に短期間で学べる創業塾が今年で8回目の開催となりました。

創業、経営の専門家を講師に招き、参加費は無料で行われておりますので、興味がある方はぜひご利用



ください。詳しくは村商工会までお問合せください。

また、創業塾の卒業者は特定支援事業の対象となり、各種便利な支援策が適用されるようになります。

## 昭和村商工会

- ◆住所 昭和村大字糸井403-1
- ◆問合せ 23-2918
- ◆開館 午前9時から午後5時

『行きます、聞きます、提案します。』の三原則に基づき、昭和36年に設立。地域内商工業の経営改善に関する相談や指導を行ったり、地域内経済振興を図るための活動などを行っています。

### 主な事業

- 1\_地域資源や全国展開事業
- 2\_Japanブランド化(コンニャクなど)
- 3\_農業観光等創業育成事業
- 4\_ふるさと雇用再生
- 5\_伴走型支援、販路開拓

# 地域を盛り上げる

現代では、少子高齢化や都市への人口流出などによる地域産業の担い手不足が深刻な問題となっています。

村も例外ではなく、事業継承が出来ずに廃業せざるを得ない事業所が増えてきているのが現状です。

しかし、幸運なことに昭和村には「村のため」「地域のため」と、地域を盛り上げる気持ちを持った人々がたくさんいます。

そんな人々の手でつくられたものが集まり、マルシェとあって動き始めました。その熱いパワーを感じにみなさんもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。